

質問の詳細

#	質問	回答		
1	'すいません、少し音声が遠いようなので、もう少しボリュームをあげていただけないでしょうか？よろしくお願ひします	ライブ中継で回答済み	'こちらでは問題なく聞けておりますので、お聞きになっている機器のボリュームを上げるなどいただけますでしょうか？どうぞよろしくお願いします。	
2	'ポートフォリオアライメントは、金融機関の運用ポートフォリオの組み換えに以外に、事業会社の事業ポートフォリオの組み換えに関しては、議論の対象にはなっていないのでしょうか。金融機関は、投資先の事業ポートフォリオをアライメントさせることも重要に思いますが。特に、パッシブ運用の場合等。	ライブ中継で回答済み	'おっしゃる通りです。投資先についてはアライメントするようにエンゲージメントをすることが重要だと思ひます。投資先のアライメントについては、気温上昇スコアやSBT設定（1.5℃、WB2Dなどの目標の分類をしています）、ACT評価（低炭素移行について評価をするプログラムであり、フランス環境庁とCDPにて5年くらいやっているものです <a href="https://actinitiative.org/">https://actinitiative.org/</a> ）など、他にもあると思ひますが、アライメントを評価いただき、エンゲージメントいただくことが重要だと思ひます。	'加えて、パッシブの場合は投資ポートフォリオが運用会社が自由に組み換えができないことや、個別企業にエンゲージメントすることが難しいことから、マーケット全体へのエンゲージメント、協働エンゲージメントが有効と考えています。例えば、CDPでは、高排出企業等にSBT設定を働きかける協働エンゲージメントがあります。議決権行使も有効な手段と考えます。脱炭素に関する議案に賛成するなどもあります。
3	TCFDの新文書は、市中協議を経て2021年秋に公表された後、適用開始はいつからになる予定なのでしょうひか。（即時適用でしょうひか？） shall / should となっている項目への対応など、準備を整えるのに相応の時間が必要だなと考えております。	TCFD自体は適用開始時期を定められる立場にいません。開示の在り方は各国の法/規制に委ねられており、当該国がTCFDの枠組みをどう位置付けるか次第となります。我が国の場合は少なくともこれまでのところ、強制開示によるのではなく、コーポレートガバナンスコードに基づく自主規制に依っています。今般CGCの改訂がなされ、プライマリー市場企業については順守が求められるESG開示の一つとして、TCFDが明示的に入ってきたことから、今後はTCFD開示への注目度が高まると思われまひます。ただ、この場合も今秋公表される指標・目標ガイダンスがどの期から適用されるべきか、TCFDとして明言できるものではありません。今後注目すべきはIFRS財団の下で設立が見込まれるISSBの動向かと個人的には思ひます。ISSBにおける標準設定がどのようなスピードでどの程度の粒度で進むかという点は要注目かと思ひます。		
4	PCAFに最近加盟しましてPCAFのDatasetにアクセスできていますが、CDP Datasetへのアクセスは特別な承認プロセスが必要でしょうひか。手続きについて教えて下さい。宜しくお願ひします。	'クリーニング済み、推計を含むフルエミッションデータセットについては、署名投資家に対してのみ、有償でのご提供となっております。ご不明点ございましたら、お気軽にメール等にてお問い合わせください。		

5	CDPのデータですが、署名投資家としてデータを頂いていますが、今のエクセルのデータはちょっと使い勝手が良くないのですが、今後よりこうしたSBTやTCFDなどで活用できるように使い勝手の良いデータセットに改善する予定はありますか？	'データの使い勝手がよくないのご指摘痛み入ります。署名投資家の意見を受けて、改善を試みっていますが、基本は「ほぼローデータ」となっており、データの加工等は投資家様にお任せしております。具体的にデータの改善が必要な項目があれば、japan@cdp.netまでいただけると大変助かります。データの部署に伝えます。どうぞよろしくお願い致します（CDPキャピタルマーケット）		
6	CDPのデータセットはデータクリーニングされているというお話でした。企業の開示をどこまで信頼しているのか、要は、計算ミスなどもあると思うのですが、どうやってデータが正しいと判断しているのか教えていただけますか。 推計をするときはどのような場合、例えば開示が一切されていない企業またはスコープについてなのか、エラー値と思われる企業の排出量なのか、教えていただけますでしょうか。 どうぞよろしくお願いします。	'ご質問ありがとうございます。全回答を対象に、セクター別の原単位、エネルギーデータとの整合などから、明らかにおかしいものを見つけています。開示を重ねるごとにミスは少なくなってきます。特に2016年ごろに一度、開示企業に1社1社確認したプロセスがございまして、それによって随分開示の質は上がったと思います。それでも、新たに開示をする企業もあるので、毎年、各種データからの妥当性チェックを行い、明らかにおかしいものは推計値を出しております。スコープごとにやっております。		
7	Under the current GHG accounting methodology by PCAF for business loan, how positive impact will be taken into account, for example banks are increasing sustainable related loans to carbon intensive sectors (e.g. loans to expand renewable energy)?	Thanks for your question. Loans with a known use of proceed (like energy efficiency loans or renewable energy) follow the project finance method, and result in avoided emissions number		
8	PCAFに署名をすることの効果や義務についてご教示ください。 署名をせずに、PCAFの測定方法に沿って計測を独自に行うケースも考えられると思います。 署名をすることの効果として、なにがしかのサポートが得られるようになるといった事があるのでしょうか。また義務として、中長期的な計画の策定の提出・管理が求められたりするのでしょうか。 よろしくお願い致します。	ライブ中継で回答済み		
9	PCAF日本はいつ頃からスタートする想定でしょうか。	'私はこの秋に願っていますが、それはこのPCAFジャパンを率いることをいとわない金融機関に依存します		
10	PCAFの、日本上場株のカバー率について、大まかで構いませんので教えてください。	PCAFデータベースはクライアントレベルのデータをカバーしていません。他のデータベース（CDP、ブルームバーグ、MSCIなど）はすでにこのデータをカバーしています。金融機関はデータプロバイダーを自由に選択できます		
11	PCAFに署名する機関にはどんな義務が発生しますか？	'金融機関は、3年以内に融資された排出量を測定して開示する必要があります		

12	PCAFの資料P11の計算式をより詳細に教えてほしい。分母の「株式+債務」は、期末のBSのどの部分を参照すればよいのか？分子は、出資分と社債引受分、融資分を合算したものでよいのか？	ライブ中継で回答済み		
13	先ほどグリーンボンドの計測方法を検討しているとのことでしたが、概要を教えてくださいませんか？グリーンボンドは資金使途が低炭素あるいは脱炭素なものだと思いますが、GHG排出量の計測方法上、グリーンもノングリーンも同様の取り扱いになっており、課題と感じております。	ライブ中継で回答済み		
14	各国にPCAFの支部を作る理由は？各国における浸透・普及が目的でしょうか？もしそれぞれがローカライズしたルールを策定すとしたら、逆にクロスボーダーでの比較がしづらくなるのでは？	'ローカルPCAFの章は、標準の実装、ベストプラクティスの共有、およびデータの改善に重点を置いています。地方支部は新しいメソッド開発に焦点を合わせていません		
15	GHGプロトコルにおいて、株式・債券の引受業務やM&Aアドバイザー業務は任意開示であり、金融SBTにおいても当該項目の目標設定の手法はない（適用外）と認識しています。PCAFにおいても、金融機関には引受業務等の計測・開示要請はないのでしょうか？なお、保険会社向けのWACIには引受の計測を求めるのでしょうか？	ライブ中継で回答済み		
16	講演者の皆さんに質問です。 目標設定については高瀬さまの資料の5ページ目の三種の方法で算出すると思うのですが、pcafによる算出に基づく設定の方法について確認です。 現状ポートフォリオの構成を変更して、バリ協定に合うようにするのでしょうか？ 例示として、不動産の原単位のような指標がどのように算出できるのか？について、ご教示ください。	不動産の場合は、事業会社用の通常SBTにて、原単位目標の設定ができるのですが、そちらの原単位目標を、投融資先についても達成することになります。目標の設定方法としては、2030年までに平方メートルあたりのGHG排出原単位を30%削減します、といった形になります。この30%を計算するために、目標とする原単位は決まっているので、現状の原単位を計測する必要があります。		
17	TCFDサポーター金融機関は、日本で百社弱ありますが、MS&ADさんのようにインターリスク総研を子会社にもっていてGHG算定技術のある人的資源を持つ先は少ないように思います。そうした先が頼りにできる技術者は現在どのくらいいるとお考えでしょうか？	「頼りになる技術者」の数は考えが及びませんが、当分野を得意とする、あるいは取り組んでいるコンサル会社がいくつかあるようです。グローバルでも、大手を含めて強化しているようであり、CDPのデータへの問い合わせやご意見等増えています。		

18	すべての投融资ポートフォリオを算出対象に含めることが理想だとは思いますが、例えば、ある金融機関が、少額ずつ多数のプロジェクトに融資していた場合、すべてを算出対象とすることは現実的では無いのではと思います。その場合、算出対象に含める項目の優先順位は、どのような観点で決めればよいのか？	ライブ中継で回答済み		
19	GHG排出量計測サービスの外部購入を検討するにあたり、具体的にどのようなサービスプロバイダ様にお声がけされたのでしょうか？	ご質問ありがとうございます。検討する際は、カーボンデルタ、VIVIDエコノミー、TRUCOST、PACTA、MOODYSなどを調査しました。実際に全て声をかけたわけではなく、文献も含めて調べました。		
20	「計測プロバイダ」とは、どのような会社でしょうか。「計測」を「プロバイド」するのですか？	'プロバイダは提供業者のことです。GHG排出量を提供する会社のことを指しています。		
21	投資や融資先は多用に及び、全ての案件や投資先の排出量計算を行うのは膨大な作業になります。PCAFの算定において、GHGプロトコルのカテゴリー15投資の少量排出源のような小規模は対象外とするような考え方はありますか？	yes, in GHG Protocol you can exclude parts that are under 5%		
22	'債務保証を提供する場合にも、PCAFは適用されるのでしょうか？その場合にはダブルカウントとなってしまいますが、どのように考えればよろしいのでしょうか？	ライブ中継で回答済み		
23	グループ子会社に対してもインターリスク総研が指導していますか？子会社毎でも炭素計測などポートフォリオ分析を行っているのでしょうか？	'ご質問ありがとうございます。インターリスク総研に依頼して、勉強会を開催しています。指導は行っていません。全体と各社のGHG排出量を計測しておりますが、子会社における詳しい分析はこれからです。		
24	データの提供は受けられたということで、計測（算定）自体は、自社でされたのですか。計測（算定）もどこかのサポートを受けたのでしょうか。	'ご質問ありがとうございます。 計測作業はグループ会社のインターリスク総研に依頼しました。		
25	開示データに第三者保証は必須ですか？？？	PCAF does not require this for disclosures, but encourages it as a voluntary best practice. Verification also plays a role in the data used by financial institutions: the highest data quality score (1) is given to emissions data which reported by borrower/investee companies that has been calculated in line with the GHG Protocol and verified by a third-party auditor.		

26	<p>計測結果を開示する際には、第三者による検証などが望ましいと考えられますが、一方で、相当な負荷がかかると考えられます。PCAFとしては、署名金融機関には、その計測結果の正確性について、何らかの補強手法を検討されているのでしょうか。</p>	<p>With regards to support for PCAF signatories to improve the quality of their disclosures: all PCAF signatories are entitled to free technical assistance from the PCAF Secretariat. This can range from answering specific questions to providing high-level reviews of the financed emissions calculations. We often hold technical workshops for signatories based on the demand of the regional teams to improve their understanding of the topic. It is critical to clarify that technical support from the PCAF Secretariat does not constitute third-party verification or assurance.</p>		
27	<p>CDP様に質問です。 データの無い企業のTemperatureRatingは、何度と想定すれば良いのでしょうか。</p>	<p>削減目標を開示していない企業、あるいは開示されていても有効な削減目標ではない場合、当該企業のTemperature Ratingsは、デフォルト値として3.2℃がつきます。これは、Business As Usualの経路を反映したものです。ただ、CDPでは、現在デフォルト値について、セクター別や過去のパフォーマンスを考慮するなど、手法を開発中です。</p>		